

花時計

No.18

川村学園女子大学

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸1133番地
Tel.04-7183-0111(代) Fax.04-7183-0115
ホームページ <http://www.kgwu.ac.jp/>



Kaori Kawabata

国際日本学研究所の活動 副学長・国際日本学研究所所長 川端香男里

いま大学は大きな改革のさなかにあり、それぞれが個性輝く大学像を求め、教育研究基盤の強化に鎬を削っています。本学も大学院人文科学研究科の既存の2専攻に加え、比較文化専攻前期・後期博士課程を増設し、小中高に大学、大学院を束ねて欠けるところのない教育研究機関として完成を見たといえます。加えて、こうした教育研究組織を支える重要な基盤として、つぎつぎに研究所が開設されております。現在は心理相談センター、女性学研究所、比較文化研究センター、こども学研究所、そして国際日本学研究所の5研究組織が付設されています。

国際日本学研究所は、本学にあって日本研究に関わる教員が自由に参加することのできる共同研究施設とするとともに、世界各国の日本研究機関との間にネットワークを結び、情報交換・研究交流を進める拠点となることを目的として設立されました。研究分野として日本語

学・日本語教育学、日本文学、日本文化、日本史学の各部門を統合するものですが、最初の事業としてカナダ・ケベック州政府国際関係省アジア・パシフィック部参事官の日本研究者リシャル・ルクレール氏を招待して、「日本におけるケベックの存在」と題する講演会を行いました。つぎには、千葉大学文学部（現在は国際教育開発センター）助教授吉野文氏をお招きして日本語教育に関するワークショップを開催しました。また昨年は荻原延元教授による「鍋島更紗、日本の伝統工芸の継承」と題する講演会を開催し、学外からの参加者も得て、盛況な会となりました。これら各研究所は自助努力によって運営されるものですが、本学の教育研究のレベル・アップのために地道な研究活動をつづけています。いよいよ厳しさを増す競争的環境の中であって、これからますます重要な役割を果たしていくものと期待されます。

新 任 教 員

G・L・ブランカー
国際英語学科 講師

I am from Mapleton, Queensland Australia. I am a professional educator with over 14 years teaching experience both in Australia and Japan. I am interested in the history of different countries and cultures and I enjoy viewing movies or documentaries about different societies. So together let's use English to explore the world around us.

本多麻子
心理学科 助手

専門分野は、精神生理学（生理心理学）、健康・スポーツ心理学です。感情がヒトの心理・生理・行動に及ぼす影響を研究しています。早稲田大学のスポーツ系・男所帯から参りましたせいか、戸惑うことも多いのですが、よろしくお願いいたします。

戸澤純子
情報コミュニケーション学科 助教授

私の専門分野は、人間のさまざまな視覚現象を実験的に調べる知覚心理学です。学生の皆さんにコンピューターや心理学の授業を通して、微力ではありますが、科学の楽しさをお伝えできればと願っております。

北上利光
社会教育学科 講師

目白から異動してきました北上です。スポーツメソッドと情報処理を主に担当しています。趣味が高じて、以前は職員として（なので、この欄に出るのは2回目です）この大学のネットワーク管理をしていました。体育の教員免許と初級シニアの資格を持っている、変わり者です。皆さんよろしくお願いいたします。

渡辺光洋
幼児教育学科 助教授

本年度4月より、大学の幼児教育学科と就職課に所属することになりました。これまでに、男子校（高校）初めに、中学校、小学校、短大といろいろな学校で学ばせていただきました。これからも、初心（行ずれば、証、その裡にあり、行ざれば、証、得ることなし）の気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。

新しい顔

安川里香子
日本文化学科 助教授

専門の近現代文学の他に卒論演習・文章表現法などを担当します。自身の感性を卒論に結晶させるのは、的確な視点と表現力です。個性を伸ばし言葉を豊かにする、その方法を見出せる授業にしたいと考えております。

西岡祥文
観光文化学科 教授

これまでアメリカ文学・文化をキリスト教思想を中心に研究してきました。観光文化学科所属となった本年度の目標は、＜アメリカ文化＞と＜英語＞を「和顔愛語」（わけんあいご）（『無量寿経』）で学生の皆さんとともに学んでいくことです。

田中 実
観光文化学科 助教授

川村短大から来ました。昨年は、兼任教員として6コマこちらで授業を担当しました。専門分野は、認知言語学、英語教育、などです。担当科目は、英語です。こちらの郊外の緑の多い雰囲気が気に入っています。

丹治朋子
観光文化学科 講師

外食やホテル産業などの科目を担当しております。日々変化する業界情報や、現場のナマの声の収集に努め、理論と共に提供していくつもりです。明るく楽しく、しかし厳しく教育に携わりたいと考えております。よろしくお願いいたします。

永吉道子
生活文化学科長 教授

川村短期大学最後の2年間、教職員が共に力を合わせたあの気迫は忘れられない。専門は発達生理学。授業では学生自身の健康を考える機会にもなるよう心がけている。趣味は山歩き、歩くペースは1日28,000歩、消費カロリー2,040kcal。夢は学生・教職員合同「川村学園オーケストラ」。

横川幸義
生活文化学科 教授

私は、目白キャンパスでおもに栄養士関連科目を、そして我孫子キャンパスでは、人体の科学を担当することになりました。趣味は、旅先での市場（バザール）の見学です。そこは食生活を学ぶ者にとって、多くの情報を提供してくれる場所だからです。

林 正之
生活文化学科 教授

我孫子校舎では、少年の頃より憧れていた階段教室で講義ができて、感謝しております。専門は結晶性高分子と界面化学でして、授業等でみなさんのお役に立てるように励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

田中美智
生活文化学科 教授

アパレル設計・生産に関わる研究をしています。また、厚生労働省管轄下、二職種（パターンメイキング作業、縫製作業）の中央技能検定委員として国家検定に携わっております。これらの経験を生かしてユニバーサルデザイン、ファッションビジネス等を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

大坂佳保里
生活文化学科 助教授

最近、生活習慣病などの健康問題と食生活の乱れとの関係が注目されています。食生活論、食品衛生学、食品加工学などを通して、望ましい、かつ、実践可能な食生活を研究しています。「暮らしの手帳」の栄養計算もその一環です。とても美味しいお料理なので、1度トライしてみてください。

竹下生子
生活文化学科 助教授

臨床栄養学及び栄養指導実習を担当します。病院の管理栄養士として20余年間、患者さんの食事療法や栄養指導に携わってきました。学生の皆さんには、講義や実習を通して、これまでの私の経験を少しでも伝えることができたいと思っています。

永嶋久美子
生活文化学科 講師

「はじめチョロチョロ、中パッパ、プツプツいうころ火をひいて、赤子泣くともフタとるな」これは炊飯の火加減のコツを表したものです。このような調理のコツを科学的に学んだり、治療食、大量調理などの栄養士に関する科目を担当いたします。

高橋裕子
生活文化学科 講師

担当するクラフトでは、生活文化上の工夫から生まれた染色や手工芸の足跡をたどりながら、先人の知恵を学生の皆さんと一緒に学びたいと思っています。そして、オンリーワンの感性や力を最大限に引き出す事を目標としています。

新 任 職 員

若澤恵子
教務課大村政和
入試広報課濱田優子
入試広報課菊池 豊
就職課 課長補佐関 重男
庶務課齋藤昌子
図書館小松和樹
財務課

異 動 教 員

小山久美子（助教授）
観→国長島一比古（助教授）
観→国松原征男（助教授）
幼→社上橋菜穂子（助教授）
社→観

退 任 教 員

羽鳥百合子（教授）
国際英語学科グレッグ・ロービック（講師）
国際英語学科青木道彦（教授）
史学科永井由紀（助手）
心理学科高見和至（助教授）
社会教育学科高田文子（講師）
幼児教育学科大崎 晃（教授）
観光文化学科トム・デュカスキー（講師）
観光文化学科入江博邦（教授）
生活文化学科

ク ラ ブ 活 動

E.S.S. (English Speaking Society)



文学部国際英語学科3年 岡崎織絵

私達E.S.S.は毎週金曜日の昼休みになると12号館3階にある国際英語学科のキスチャック先生の研究室にて英会話の指導を受けています。主な内容は、趣味や最近の出来事を英語で話し、昼食やお菓子を食べながら会話を楽しんでいます。秋になると学園祭でスピーチコンテストを主催し、会場設営などその他様々な仕事を経験出来ます。語学はもちろん、コンテスト出場者の学生とも交流する事が出来、自己形成にも役立つのです。出場も可能で、E.S.S.の部員たちは、優秀な成績を修めています。

私達は学科や英語力に関係なく、多くの新入生の入部を待っています。興味のある方もそうでない方も一度、キスチャック先生の研究室に足を運んでみませんか？そして私達と一緒に英語力や国際性を磨きましょう！

BOOKS

●上橋菜穂子
（観光文化学科 助教授）
著書新刊 青柳まちこ編『老いの人類学』世界思想社：世界各地の老人に関する文化人類学の研究書。（共著）

上橋菜穂子著『蒼路の旅人』偕成社：私が書き続けている異世界ファンタジー・シリーズの最新刊です。

●永吉道子（生活文化学科長 教授）
吉田勉監修 永吉道子共編著
『わかりやすい公衆栄養』三共出版

●田中美智（生活文化学科 教授）
『介護と衣生活』小林茂雄・田中美智編著

同文書院
高齢者・障害者の被服は、快適性、安全性が特に要求される。衣生活に於ける課題について解説した。
『新版 家政学事典』（社）日本家政学会編 朝倉書店
家政学原論、家族関係、家庭経営をはじめ衣食住や教育、児童等家政学の全般を網羅したこの種の事典としては最多事項が記載されている。

●丹治朋子（観光文化学科 講師）
『観光事業論講義』安村克己他編著 丹治朋子他共著、くんぶる 2005年
観光事業の直面する課題と今後の方向について論じた書。より実践的な内容にするため、ホテルや運輸事業者などの実務者による特別講義も収録。

●若桑みどり（生活文化学科 教授）
大佛次郎賞を「クアトロ・ラガッツィー天正少年使節と世界帝国」で受賞し、「戦争とジェンダー」（大月書店）（2005年4月15日）を出版しました。



オリエンテーションレポート

FESTIVAL

国際英語学科



国際英語学科は先生方、新一年生とともに東京国立近代美術館で開催中の『ゴッホ展』と常設展を鑑賞し、KKRホテルでの昼食会の後、在学生による英語での先生方の紹介とシェイクスピアの作品『リア王』の一部を楽しみました。

情報コミュニケーション学科



今年の情報コミュニケーション学科の新入生オリエンテーションは、昨年同様ホテル（ザ・クレストホテル 柏）で会食をしながら親睦を深めるスタイルで行われました。

昨年同様壇上での自己紹介（教職員も含めて）を行いました。壇上にかかる前は「ええ出来ない!」と言っていた学生が、とてもきちんと（かつ面白可笑しく）皆の前で話をするのを見てホッとした次第です。

日本文化学科



恒例の江戸東京博物館を見学した後、大江戸線で蔵前に出て浅草方向に向かって歩きました。今も江戸情緒を見せる「駒形どぜう」から「雷門」へ、昼頃には「神谷バー」に到着、早速に自己紹介を兼ねてのパーティーとその美味しい料理に大満足。さらに満開の桜の中を隅田川舟下りと新緑映える浜離宮庭園へのフルコースでした。

史学科

横浜開港資料館で、学芸員の方から横浜や三溪園の歴史の解説を聞き、「100年前の横浜ウォーキング展」を見学しました。そして中華街で昼食をとりながら、自己紹介をして大いに盛り上がりました。午後からは桜が満開のなか、新しくできた友達と共に三溪園を散策し、とても充実したオリエンテーションとなりました。



社会教育学科は、桜が満開の上野公園内にある国立科学博物館で開催されている「恐竜展」を見学しました。恐竜から鳥への進化を辿っての見学は大変勉強になりました。特に巨大ティラノサウルス「スー」に関心が集まりました。その後、上野「トラットリアイタリア」で料理を満喫しながら交流を深めました。

社会教育学科



栃木県益子町にある益子焼の窯元で、ろくろを使った陶器づくりを体験しました。悪戦苦闘しつつも皆で楽しみながら、茶碗や皿など満足いく作品を完成させることができました。

最近「体験する観光」が人気を集めています。今回の陶芸体験は観光文化学科で観光について学ぶ第一歩となったはずで

観光文化学科



心理学科



心理学科のオリエンテーションは、例年どおり、昼食会をかねてザ・クレストホテル柏で行われました。教員を含めた全員が壇上にあがって自己紹介をしました。新しいキャンパスライフを前に、期待や抱負やちょっぴり不安や…。短時間の自己紹介ではあったけれど、さまざまな個性が発揮された瞬間でした。

幼児教育学科



本学3号館において「伝統芸能で広がる子どもの世界」をテーマに歌舞伎についての講演と「歌舞伎の美・女形のできるまで」を体験および上演鑑賞した。講師は堀内紀宏氏（元歌舞伎俳優）他、特に今回は特有の美しい「女形」を身近に見ることができ、普段得られない知識が得られ貴重な経験ができた。

生活文化学科



生活文化学科では、椿山荘において西洋料理のテーブルマナー、料理長の講義、目白の遺跡散策を行いました。講義では、食材の選別、価格変動への対応、衛生問題、環境への取り組みについて理解を深め、テーブルを囲みながらの楽しい会話と、満開の桜の中で散策をしながら学生間、教員との親睦を深めました。

目白キャンパス

生活文化学科

昨年、目白校舎への入学第1号となった2年生に新入生が加わり、おおいににぎわっています。今回は各種資格と、それに関連した豊富なバックグラウンドとともに学べるカリキュラムならびに目白のロケーションを紹介したいと思います。

資格について、ここでは次の3つを挙げます。まず栄養士ですが、栄養の指導にかかわることで、官公庁や保健所、病院、学校や工場、福祉施設、スポーツ施設など活躍の場は広く、重要性が増している資格です。

今年から用意された資格もあります。2004年学校教育法が改正され、2005年から施行されて創設された栄養教諭の免許状を今年から取得できるようになりました。教育の一環として肥満の低年齢化、偏食、アレルギー問題などへの対応が期待されています。

最後に医療秘書実務士があります。今日、医療が専門化、高度化し、チームを組んでの医療の大切さが叫ばれています。チーフを中心にチーム内のコミュニケーションを円滑に行うために生まれた

事務系の専門職です。医学・薬学、診療報酬請求事務などの基礎知識、OA機器対応能力、接客マナーを持ったスタッフとして、医療や福祉分野での活躍が期待されています。

一方、目白は、JR山手線の内側にありながら、とても落ちついた雰囲気を感じさせます。目白駅から左向かい側にアンティーク調の小物で有名なカフェや同じならびに健康志向の「南フランス」の家庭料理を楽しめるレストランなどのおしゃれなお店があります。また目白駅から左手奥方向にある、本格的な日本庭園「目白庭園」は、池の周りをめぐりながら自然の造形美を楽しみつつ遠くにメトロポリタンプラザも見えるので、自然の情緒と大都会の技術のコントラストを味わえます。

目白通りを都心に向かって行くと椿山荘の手前に東京カテドラル聖マリア大聖堂があります。独特の建築

は一度見ると忘れません。この教会は日本でのカトリック教の活動の中心でもあります。

目白は、おしゃれなお店の華やかさと和洋文化の知性が光る一方、池袋駅がひと駅先にあり交通や買い物に便利です。便利でありながら、緑ゆたかで落ち着いた環境の中で、自分の希望・計画にあわせて資格を取り、入学してよかったと思えるように努めていただきたいものです。



我孫子キャンパス

心理相談センター

川村学園女子大学心理相談センターが開設され、今年で3年目を迎えました。地域に開かれた「心の相談室」として機能していくことを目的とし、平成15年に大学の附属施設として設置されて以来、様々な悩みや心理的問題を抱く人々の相談窓口として、臨床心理学的援助に努めております。相談活動は、「登校拒否・不登校」「発達の



問題」、「対人関係の問題」が多く、その他「嗜癖の問題」に至るまで多岐におよんでいます。

また、地域の自治体や保健所、児童相談所との連携により、実際の地域住民の子育て支援活動を行うほか、研修・講演による、「心の健康」に対するサポートや、障害に対する正しい理解や知識の啓蒙にも励んでいます。

そして、「心理相談センター」のもう一つの目的である大学院実習施設として、実際の臨床現場での経験を積むことにより、臨床家としての知識や技能だけではなく、実践的・実証的な研修の場として機能しております。

このような活動報告の場として、平成16年には、「心理相談センター紀要」創刊号を発行し、教育・研究活動の研鑽にも励んでいます。

女性学研究所

21世紀に生きる女性の生き方を提案する、研究・教育・交流のヴァーチャルなセンターとして平成15年に開設されました。本年度、女性学会を併設し、学会としての機能を高めることになりました。さまざまな専門分野からの研究発表、内外の研究者とのシンポジウムや共同研究を通して、日本のみならず海外における女性及び女性に関する現況や知見に敏感であることを義務としています。それが、本学の建学の精神である「自覚ある女性の育成」の可能性を広げることに繋がると願って、会員は研鑽を重ねています。

渋谷、駒場界隈の博物館・美術館巡り

東京で今“旬”な街といえば渋谷、原宿、青山、代官山、六本木、恵比寿、丸の内、有明辺りかと思います。今回はその中でもひときわ若者たちが集まる渋谷周辺の美術散歩です。まずは誰もが知っているハチ公前のスクランブルを渡り、道玄坂下へ進めば人気の“109”です。それを左手に見ながら道を真すぐ進むと東急百貨店本店が見えてきます。ここにはBunkamuraと称する美術展、演劇、音楽会、映画など質の高い企画を催すゾーンがあります。そしてこの建物の後ろに控えるお屋敷町は“松涛”とよばれるセブな地区で、能の観世流・観世会館があり（能を習っている人の発表会の時は無料で拝見出来るのが嬉しい）また近くには伊万里、鍋島の磁器のコレクションで知られる戸栗美術館も魅力的です。

この町の中心部には元鍋島藩の屋敷跡の庭園が今もあり、憩いの場となっているのでここで一休みして、渋谷区立松涛美術館を訪ねましょう。時折他には見られぬユニークな企画もあり、なかなか楽しめます。この松涛町の向かいには東京大学教養学部の

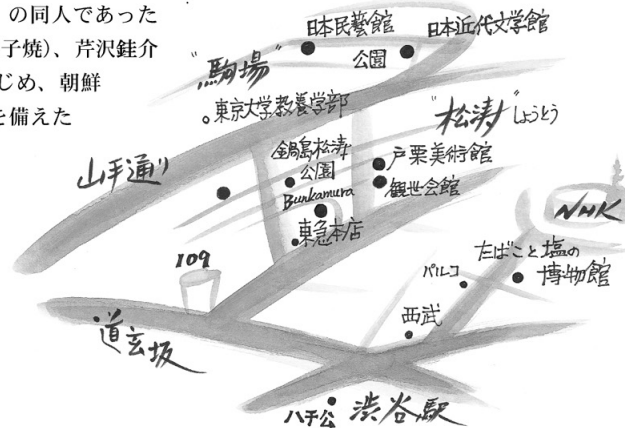
あるいわゆる“駒場”です。山手通りを越え、西へしばらく歩けば駒場公園・日本近代文学館があります。ここは旧前田公爵の屋敷があったところで美しい洋館と校舎風の展示施設、それに日本建築の良さを知る“和館”からなっています。秋になると洋館前の大銀杏の黄葉の頃は見事です。さらに徒歩3分の場所には、日本民藝運動の指導者柳宗悦とその同志、及び倉敷の大原孫三郎の援助により建てられた日本民藝館があります。ここには“民藝”の同人であった河井寛次郎、浜田庄司（益子焼）、芹沢銈介（型染）等の工芸作品をはじめ、朝鮮半島、沖縄などの用の美を備えた見応え十分の名のない優れた工人の工芸品が展示紹介されています。なお、駒場地区に特に興味があれば、井の頭線の“駒場東大前”で下車して巡るのが良いでしょう。このほか、パルコのある公園通りの坂には“たばこと

塩の博物館”があり常に企画展が催され、入場料も安く一度訪ねてみては如何でしょう。

（日本文化学科 教授 荻原延元）

― 特にお薦めする展覧会・企画展 ―

- Bunkamura ザミュージアム（渋谷東急本店横）
6/18（土）～7/31（日）レオノール・フィニ展
8/9（火）～10/23（日）ギュスターヴ・モロー展
- 戸栗美術館
7/2（土）～9/25（日）館蔵「鍋島焼名品展」



公開講座

高校生のための公開講座①

サマーカレッジ

年月日曜	学 科	公 開 講 座 名	担当教員
平成17年 7月28日 (木)	国際英語 学科	児童英語ワークショップ ぼくセザール10歳半1m39cm	キスチャック 佐藤浩子
	情報コミュニ ケーション学科	ネットワーク思想の誕生 ネットワークでホームページ作成を	本郷 健 本村猛能
	観光文化 学科	世界遺産―トロイへの旅― 観光を社会学する	藤井信行 高山啓子
平成17年 7月29日 (金)	幼児教育 学科	女の子・男の子を科学する!? ハンドベルについて(演奏と実習)	内海崎貴子 近藤光江
	史学科	歴史探訪ソクラテスってどんな人?(1) 歴史探訪ソクラテスってどんな人?(2)	湯浅 弘 湯浅 弘
	心理学科	スーパー記憶術 心理学と占い	川崎恵里子 北原靖子
平成17年 7月30日 (土)	生活文化 学科	ビデオミニ社会の市民たちに学ぶ ヒトと水との関係―ヒフ水分の測定―	早川克巳 坂口武洋
	社会教育 学科	福祉のこころ 児童(幼児)虐待―その現状と対策―	北村浩一郎 坂口早苗
	日本文化 学科	樋口一葉 風神雷神図	安川里香子 荻原延元

高校生のための公開講座②

ウィークエンドカレッジ

年月日曜	副 専 攻	公 開 講 座 名	担当教員
平成17年 9月17日 (土)	地域研究	英国の子供たち―文学の視点から― 英国の子供たち―歴史学の視点から―	菱田信彦 金澤周作
	社会科学	観光と流行 なぜブランドに走るのか	池田輝雄 富田昌志
	英 語	TOEIC入門 マザーグースの英語	小山久美子 長島一比古
平成17年 9月24日 (土)	健康科学	健康とダイエット 健康と栄養	北上利光 大坂佳保里
	日本語教員 養成	外国人に日本語を教えるおもしろさ 世界中で学ばれる日本語	竹端瞭一 鈴木香子 竹端瞭一 松浦恵津子
	女性学	見られる女性から見る女性―アメリカ― 見られる女性から見る女性―イギリス―	斎藤幸子 手塚裕子
平成17年 10月1日 (土)	地球環境	私たちのくらしと環境汚染 都市をつくる・港をつくる	宮本一子 生井澤幸子
	生命倫理	『世界の中心で愛をさけぶ』を 宗教学から読むとこうなる 尊厳死について考える	野村文子 湯浅 弘
	芸 術	現代日本画に親しむ 音楽のちょっとした話	荻原延元 近藤光江

卒業生は今

池田千春

英語英文学科 2004年卒
(現国際英語学科)

私は現在TBSテレビで『きょう発プラス!』という番組のアシスタントディレクターの仕事に派遣社員という形でしています。どんなことをしているかというと、取材のために必要な資料を集めたり、編集をするのに必要な元となる映像を報道部から借りてきたり、スタジオで使うフリップの発注をしたりなど、多岐に渡っています。時間が不規則であったり（徹夜することもあります）、大勢いる番組スタッフとうまく連携を取らなければならなかったりと大変なことや辛いことは多々ありますが、タレントさんに会えたり、最新情報や裏情報を入手できたりと毎日いろんな刺激を受けることができる仕事です。多くの人に面白いと思ってもらえるVTRが作れるよう、今は経験を通して学ぶ毎日を送っています。

柳沢鮎美

史学科 2005年卒



就職活動を始めた頃は、本づくりに携わる仕事がしたい、そう思っていた私ですが、紆余曲折を経て、今はイオン株式会社で働いています。現在岩手県の新潟県という自然がいっぱいな町の店舗に配属され、そこで働いています。全国転勤有りの総合職ですが、まさかいきなり東北の、行ったことも無い岩手県に配属されるとは思いもせず、初めは苦悶もしました。しかし、今は仕事に追われ、そんな悩みもどこへやら。今イオンが一番力を入れているスーパーセンターという業態の店舗への配属で、スパルタ教育ですがその分色々なことをやらせて頂けてやりがいがあります。イオンの店舗は全国各地、海外にまであります。数年後には、私は日本にすらいなかもしれません。それもこれも、自分のやる気次第。私がこの会社でやりたいことは、店舗で働く従業員皆が力を発揮できる職場作りです。これからその目標を目指して、自己研鑽していこうと思います。

佐藤恵里子

情報教育学科 2001年卒
(現情報コミュニケーション学科)

卒業後、地元仙台に戻り、SEとしてソフトウェアの開発に携わっています。現在は、テレビ機能携帯電話の電波受信基地局を動かすファイルを生産するシステムを開発しています。非常に忙しい現場ではありますが、やりがいがあり、毎日楽しく仕事をしています。

石井草子

社会教育学科 2000年



私は現在、東京・有明のバナソニックセンター内にある「林原自然科学博物館ダイノソアファクトリー」という恐竜研究の過程を紹介する博物館で、アシスタントエデュケーターとして働いています。博物館で働く人＝学芸員や研究者というイメージがあると思いますが、エデュケーターは博物館のメッセージがより伝わるような展示・プログラムの開発、実施を行います。またフロアに出てお客様により良く展示を利用していただくための案内もしています。

在学中は学芸員資格取得の過程で博物館資料や運営など、博物館の基本について学びました。現在はそれをベースに実践を通して来館者のバックグラウンドや博物館での経験を理解することに努めています。このことが、より良い展示やプログラムの開発のヒントにつながっています。

博物館にきた人がそこでの経験を通じて新しい発見をしたり、一緒に来た人と仲良くなれるような環境づくりをしていきたいと思っています。

山田ゆかり

幼児教育学科 2004年卒



幼稚園教諭になりたいという夢が叶って早一年。この一年間は期待と不安の中、子ども達に囲まれあつという間に日々が過ぎていった。失敗もたくさんし自分の未熟さを実感することも多いが、先生方の適切なアドバイスの下、保育をしている。どんなに落ち込んだ時でもふと子どもの無邪気な笑顔を見ると不思議と元気が湧いてくる。今の自分がいるのは、大学の先生、友達、頼もしい子ども達又、どんな時でも温かく見守ってくれる先生方がいるからだとても感謝している。

秋村早矢歌

日本文化学科 2004年卒



早いもので社会人も2年目になりました。新入社員がすごくかわいい!! 不思議なことに道を歩いても電車に乗っていてもフレッシュな人は一目見ただけでわかるんですね。これも2年目の余裕なのかしらなんて思いながら毎日を過ごしています。私の所属している部署は残業がほとんどないのでほぼ毎日定時に帰っています。通勤に2時間近くかかるので習い事までする余裕がないのがちょっと残念。毎日自分の父親ぐらいの年齢の方達と仕事をするのは楽ではありませんが、勉強になることも多いので充実しています。

亀山祐子

観光文化学科 2004年卒



私は田崎真珠株式会社に勤務しております。私が配属されたパールギャラリーという赤坂にある店舗は、他店舗とは違い、販売業務だけを行うのではなく、バス添乗業務を行います。始めにTASAKIバスにて集合場所からお店にお連れし、ジュエリーセミナーをし、その後お買い物をして頂きます。次にお食事場所に行き、最後に皇居や横浜中華街など様々な観光名所を案内します。また外国人団体客も多く、日々英会話の必要性を実感しております。月に何度か展示会もあるので、銀座店や色々なホテル会場にも行き販売しています。休日が不定期で、毎日大変忙しく人間関係も大変ですが、良い上司にも恵まれなんとか頑張ってます。

和田幸枝

生活文化学科 2005年卒



卒業後、医療法人誠翔会の在宅医療スタッフの栄養士として働いております。今は食事のカロリー計算や患者様の所へ伺いドクターの診察助手をするなど、栄養士の仕事だけではなく、医療や介護のことなど、色々な仕事をさせていただいております。覚えることが多く大変ですが、様々な知識を得ることができ、やりがいを感じます。また、上司や先輩方がとても親切かつ丁寧にご指導してくださるので、大変感謝しております。学生時代で学んだことを生かしながら、新しい知識を取り入れ精一杯頑張っていきたいと思います。

「卒業生は今」原稿募集のお知らせ

「花時計」は、大学での今をお伝えするために学内ばかりでなく、卒業生にもお送りさせていただいています。「卒業生は今」のコーナーでは、皆さんからのひとこと(300字程度)をお待ちしています。卒業年と学科を必ずお書き添え下さい。採用分には大学の図書カードをさしあげます。原稿宛先 川村学園女子大学広報委員会

編集後記

- 投稿して下さいの皆様、そして荻原先生に感謝したい。(W.K)
- 限られた紙面に盛り沢山。またまたO先生とTさんのお世話になりました。(T.K)
- 「風神の居候する雷門」なんて古川柳があります。夏も主役は雷様ですかね。(Y.O)
- 花時計を楽しく読んで下さい。皆さんのお便りをお待ちしております。(K.H)
- 表紙を飾る写真もなかなか難しい。シャッターチャンスは100に1つ。(N.O)

発行日/平成17年7月15日第18号発行
制作/川村学園女子大学広報委員会